

令和4年度「環境にやさしい作戦」推進活動（内容）

豊中市伊丹市クリーンランドでは、循環型社会の構築に向けて事業活動の中で環境負荷の低減や環境に配慮した取組み・活動を「環境にやさしい作戦」行動として、職場全体で推進しています。

令和4年度の重点的な取組みは、マイカップ・マイボトルの使用を推進するため、ペットボトルの回収量を「見える化」し、ペットボトル使用量の縮減効果を図るため、ペットボトルの回収量の計測を行いました。

また、ペットボトルの分別とペットボトルの運搬回数、ごみ袋の使用枚数削減の観点から、ペットボトルつぶし器の設置を行いました。

1. 職員の実践行動

「3Rの推進」や「ごみの分別」・「省エネの推進」など環境に配慮した行動を進めるため、具体的な行動目標や取組み項目を掲げて職員一人ひとりが実践を通して、四半期毎に行動の振り返りとその達成度評価を行い、意識の向上と更なる活動の促進に取り組みました。

<行動目標>

- ① クリーンランド全体の統一目標：「ごみの発生抑制と分別の徹底、節電・節水による省エネに取り組む」
- ② 各課の目標

所 属 名	年 間 行 動 目 標
総務課	職場内のお知らせにとどまらず、会議や打ち合わせ資料なども極力電子データを活用し、ペーパーレス化を進めます。
再資源・搬入課	マイカップ（ボトル）の利用に努め、ペットボトル・紙コップなどの使用を極力控えます。使用したペットボトルはキャップとラベルを外し、中は濯いで、潰して回収BOXに入れ、紙コップはごみ箱には捨てずに、備えている紙コップ収納箱に入れます。
施設課	職場内のお知らせにとどまらず、会議や打ち合わせ資料なども極力電子データを活用し、ペーパーレス化を進めます。
管理課	紙類、ペットボトル、プラスチック製容器包装、缶・びん等の再生資源の分別を徹底し、資源のリサイクルに努めます。

<33の行動指針>

令和4年度における「3つの宣言と33の行動指針」の取組み項目を実践（行動指針は別紙に掲載）

◎ <2つの取組み行動>を四半期ごとに自己評価しており、職員の達成度は着実に上昇しています。今後も継続していきます。

2. 環境イベントや施設見学・出前講座等を通して、市民との交流と3R行動等の周知を実施

<各イベントにおけるクリーンランドブースへの来場者>

- ・伊丹市シルバーフェスティバル（中止） ・とよっぴーフェスタ（10/15）182人
- ・とよなか市民環境展（11/25～26）895人
- ・ジョイントひろば（6/19）1995人（11/20）雨天中止

3. 職員研修の実施

環境配慮行動の推進に向けて、職員の意識向上と実践行動につなげることを目的に令和4年度も年間2回の職員研修を行いました。

＜第1回：6月10日～7月9日 研修テーマ：「環境にやさしい作戦の活動について」＞

＜第2回：12月5日～28日 研修テーマ：「クリーンランド環境配慮活動」＞

◎＜環境配慮行動の研修＞でクリーンランドで行っている環境配慮活動や7種の分別についての説明を通して、職員の知識と意識の向上を図りました。

4. ごみの分別調査の実施

新型コロナウイルス感染拡大防止の観点から、コロナ禍以前は年間4回行っていたクリーンランド内可燃ごみ他7種類のごみ箱の分別調査を令和2年度、3年度に引き続き「雑がみとコピー用紙」のみ実施しました。

＜第1回：6月21日 第2回：9月28日 第3回：12月19日（コロナ流行のため中止）第4回：3月1日＞

◎＜紙類の分別状況＞は、前年比較で分別適正率は5%上昇していました。異物は例年同様の分別間違いが見受けられていますので、再度職員研修等で分別方法を周知し、引続き分別行動の実践に努めていきます。

5. 分別強化月間の取り組み

ごみの分別について改めて考える機会を設け、職場全体で3Rに取り組んでいく気運を高め、11月を分別強化月間としています。令和4年度は「写真を見て一言を考えよう」と題して、職員全員に環境に関する写真を見て感じた一言の募集を行いました。

◎＜分別強化月間＞の取り組みには95%の職員が参加し、職員の関心が高い取り組みとなりました。今後も職場全体で一丸となり取り組める企画を行います。